

ホームページ講習会

(参考 URL: <http://www.tamano.or.jp/takara/takarahtml/sakusei.htm>
<http://www.tohoho-web.com/www.htm>)

a.概念

1.インターネットとは

- ・ネチケット

2.WWWとは

- ・URL

3.ホームページ（Web ページ）とは

- ・HTML
- ・HTML ファイルの基本構造
- ・ホームページの構造

b.実践

ホームページを作ってみましょう

- ・ホームページ作成に必要なもの
- ・作成手順
- ・作成にあたっての注意事項
- ・さっそく作ってみましょう！
- ・WWW サーバにアップロードする

c.その他

- ・HTML エディタを体験してみましょう（Adobe GoLive 体験版）

a.概念

1.インターネットとは

インターネットは世界的なネットワークのネットワークです。インターネットは、驚くほど多くのネットワークを接続し、E-mailなどのサービスを共通の手段（TCP/IP プロトコル）で提供しています。

(参考 URL : <http://www.cqpub.co.jp/od/rensai/inter/itindex.htm>)

インターネットでできること（サービス内容）

- ・E-mail
- ・WWW
- ・FTP 等

・ネチケットとは

「Network」と「Etiquette」の合成語で、ネットワーク社会で活動するうえで求められる道徳や礼儀のことです。

(参考 URL : <http://www.cgh.ed.jp/netiquette/>)

注) 他人のホームページを*リンクしたい場合は、必ずその制作者に断わりましょう！

*リンク（ハイパーリンク）

分散した情報同士を関連付ける機能を「リンク（ハイパーリンク）」と呼びます。リンクをうまく使うことによって、すべての情報を1ページに詰め込まなくても、立体的なホームページを作成できます。

2.WWW（World Wide Web）とは

WWWは、使いやすいうえに情報が満載の偉大なサービスです。NetscapeやExplorerなどの*ブラウザを使って、文字はもちろん、グラフィックや音声や動画のやり取りも簡単にできます。

(参考 URL : <http://www.brl.ntt.co.jp/~takada/docs/www-intro/>)

*ブラウザ（Webブラウザ）

WWWサービスで提供されている情報（ホームページ）をコンピュータの画面に表示させるソフトウェアです。現在普及しているブラウザはMicrosoft社のInternet ExplorerとNetscape Communications社のNetscape Navigator（またはNetscape Communicator）の2つです。ホームページ作成者が注意すべきことは、Netscape Navigatorで見たときとInternet Explorerで見たときとは、文字やレイアウトの表示が微妙に違うということです。ホームページを作成したら、この2つのブラウザで表示を確認することをお勧めします。

・ URL（Uniform Resource Locator）

情報資源のありかを示す「インターネット上の情報の住所」として利用されていますが、実際には通信手順、アクセスするコンピュータ名（サーバ名）、アクセスするディレクトリやファイルの場所を示しています。

例) <http://www.shiga-med.ac.jp/mmc/index.html>

これは http という通信手順で、www.shiga-med.ac.jp というコンピュータ（サーバ）の中の mmc というディレクトリの中の index.html というファイルにアクセスするという意味になります。

The diagram illustrates the path of a URL. It starts with a computer icon representing the WWW server, labeled 'www.shiga-med.ac.jp (*WWWサーバ)'. An arrow points to a folder icon representing the directory 'mmc'. A second arrow points to a document icon representing the file 'index.html'.

*WWWサーバ（Webサーバ）

サーバとは、要求に応じてサービスを行うコンピュータのことを言います。インターネットホームページ（ウェブ）を格納して、見たいという要求があった時に直ちに情報を発信するというサービスを行うコンピュータがWebサーバです。本大学のwwwサーバはdaisyです。

3.ホームページ（Webページ）とは

本来は、インターネット上に公開されたページの、最初のページのことをいいます。

しかし、広く使われるようになるにつれて当初の意味は曖昧になっていき、現在では公開しているページのすべてをホームページと言っているようです。ホームページの正体は、

※HTMLという言葉です。

(参考 URL : <http://www.netwave.or.jp/~kurihara/hometext/home1-1.html>)

※HTML (Hyper Text Markup Language)

< >の中に命令を記述してホームページ (Web ページ) を作成する言語です。この< > の中に書かれた命令を※「タグ」と呼び、ブラウザがタグの意味を解釈して表示します。

HTML ファイル自体はテキストファイルにすぎず、一般のテキストエディタを使って作成できます。

(参考 URL : <http://www.netwave.or.jp/~kurihara/hometext/home1-2.html>)

※タグ (HTML タグ)

HTML タグは<>記号で囲まれている文字列です。

<タグ名>タグ機能を影響させる文字列 (画像) </タグ名>

基本的にタグは、開始タグと終了タグがあり、タグの機能を影響させたい文字列 (画像) をタグではさみます。普通、終了タグはタグ名の先頭に / (スラッシュ) をつけます。

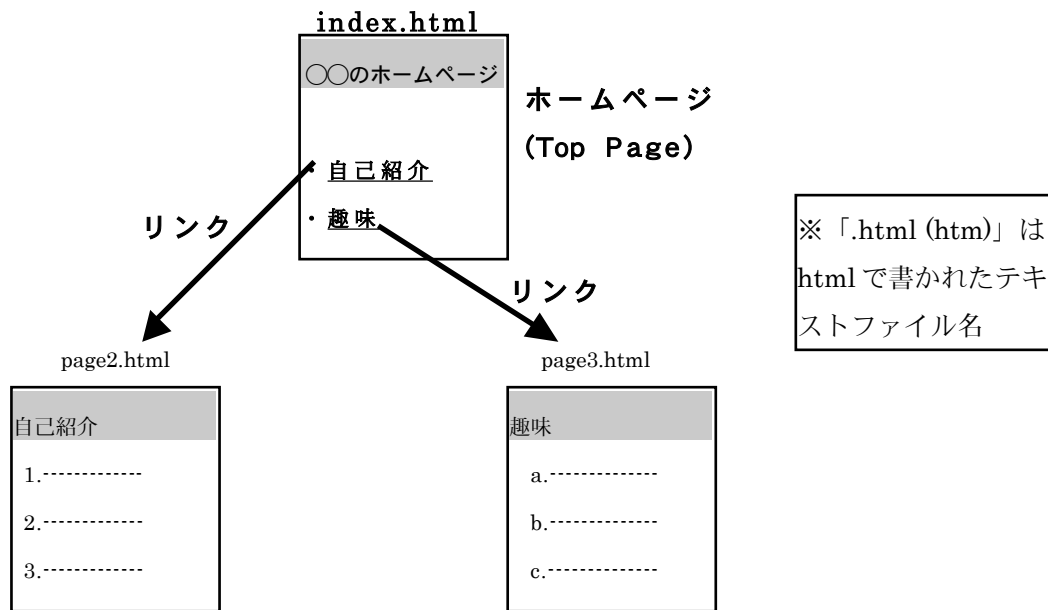
・ HTML ファイルの基本構造

HTML ファイルは、基本的に3つの部分で構成されています。

HTML ファイルであることを示す<HTML>タグの範囲、タイトルや特徴などのヘッダ情報を入力する<HEAD>タグの範囲、ページの本文を入力する<BODY>タグの範囲で構成されています。<BODY>と</BODY>で囲まれた範囲に、ページのメインになる情報 (すべての文書や HTML タグ、イメージなど) が入ることになります。



・ ホームページの構造



b. 実践

ホームページを作ってみましょう！

・ ホームページ作成に必要なもの

(参考 URL : <http://www.netwave.or.jp/~kurihara/hometext/home1-3.html>)

ハードウェア

コンピュータ (PC/AT 互換機, PowerMac など)

ソフトウェア

● エディタ

(基本) **テキストエディタ** : ただ単にテキストを入力できるソフトウェア。テキストエディタで HTML タグを書いていきます。(Windows ならばメモ帳、Macintosh ならばミミカキエディットなど。)

HTML エディタ : ホームページ・データを作成・編集する際、画面にブラウザとほぼ同じ状態を表示しながら作業できるホームページを作るためのソフトウェア。

しかし、HTML エディタはそのソフトに依存するため、汎用性は乏しいです。(ホームページビルダー、GoLive 等)

(フリーウェア・シェアウェア URL : <http://www.vector.co.jp/>)

●WWWブラウザ

作成したHTML文書を画面表示し、内容を確認します。（Safari、Explorer等）
（フリーウェア・シェアウェア URL：<http://www.mozilla-japan.org/products/firefox/>）

●画像作成ソフト

画像データを作成、編集します。（photoshop等）
（フリーウェア・シェアウェア URL：<http://www.vector.co.jp/>）

●ホームページ作成用素材集

ホームページ作成でよく使うような画像、マーク等の素材データを集めたもの。個人利用の場合は著作権フリー。

（参考 URL：<http://www.sozaionokoku.com/>）

●FTPソフト

作成したHTML文書、画像データWWWサーバへ転送するソフトウェア。
（フリーウェア・シェアウェア URL：<http://www.vector.co.jp/>
<http://cyberduck.ch/> [for MacOSX]）

・作成手順

1. パソコン内にテキストエディタを用いて、HTML文書を作成します。必要に応じて、画像データを素材集からコピーします。
2. WWWブラウザで、作成したHTML文書をローカルファイルとして読み込み、画面に表示させて内容の出来具合を確認します。
3. 1、2の手順を満足のいくまで繰り返します。
4. 完成したデータ（HTML文書、画像データ）を、FTPソフト（本学のMacintoshからであれば、「ホームページを載せる方法」を参照）使ってWWWサーバへ転送し、動作を確認します。

・作成にあたっての注意事項

●ディレクトリ

作成したHTMLファイルはディレクトリ（フォルダ）を作成して、その中へ関連するファイルをすべてまとめておく。（管理をしやすくする為）

●ファイル名

パソコンとWWWサーバ（UNIX）との環境の違いによる影響がないよう、名前のつけ方に注意します。

ファイル名は、半角英数小文字（UNIXでは大文字と小文字を区別する為）とし、漢字あるいは半角カナ文字は用いない。名前の途中にスペースを入れない。拡張子を必ずつける。

- ・HTML文書の場合 : **.html**
- ・画像データ (G I F) : **.gif**
- ・ " (J P E G) : **.jpg**

●タグ

半角英数字で書きます。全角にするとタグとして認識されません。できれば大文字に統一すると見やすいです。

●イメージ（画像）

ホームページで使われる画像フォーマットは、GIF と JPEG です。

ホームページに画像をのせるのならば、あらかじめ画像作成（変換）ソフトでこれらのフォーマットに変換しておく必要があります。また、画像ファイルの容量が大きすぎると、ホームページが重くので（ホームページを読み込むのに時間がかかるということ）、画像をのせるのは、ほどほどに。

GIF(Graphics Interchange Format)

256色のパレット表示ができるフォーマット。このためフルカラーの画像をGIFにするには256色に減色する必要がある。

JPEG(Joint Photographics Experts Group Bitmap)

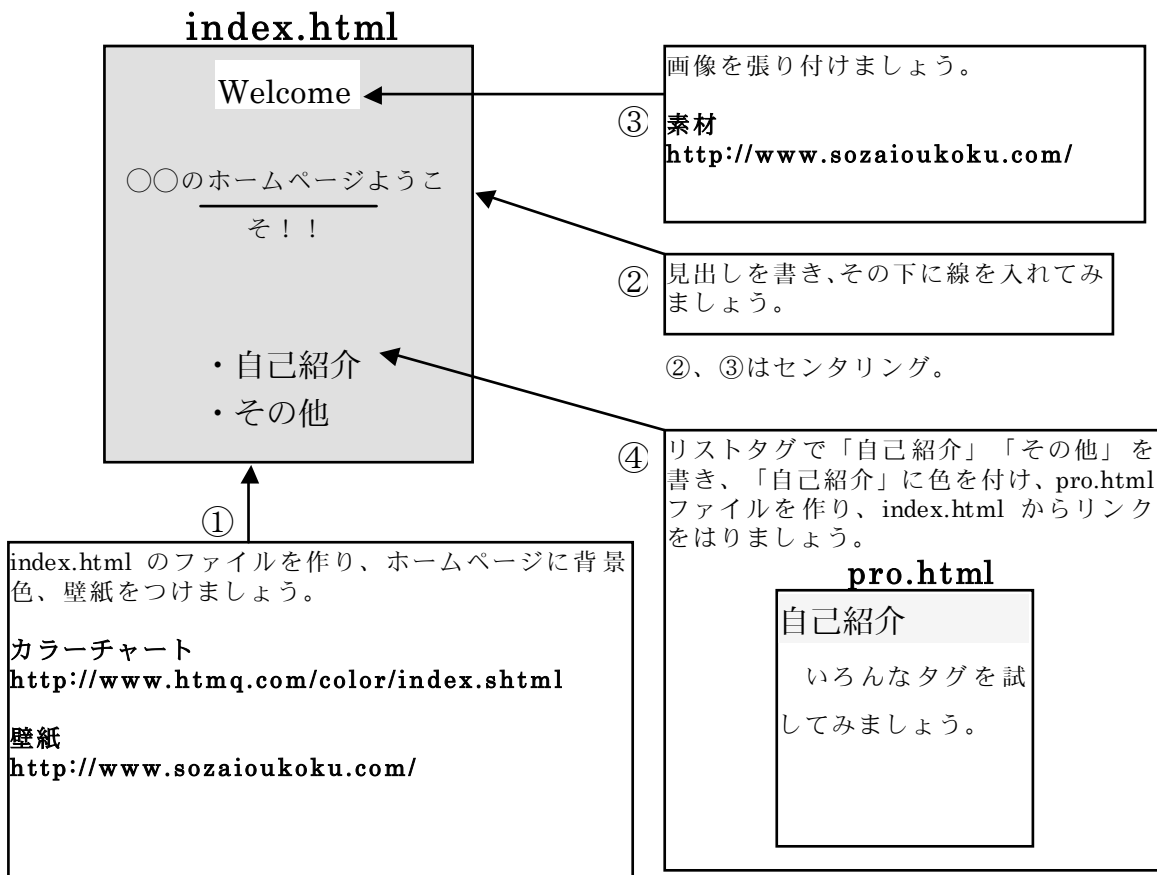
画像などのようにフルカラー画像を保存するためのフォーマット。高い圧縮効率。

・さっそく作ってみましょう！

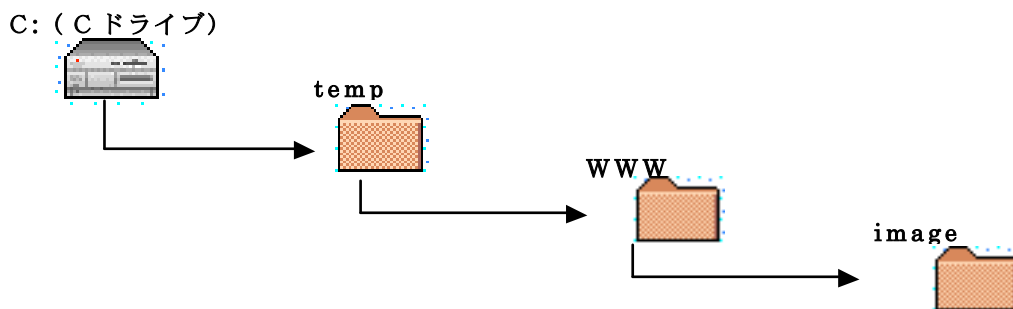
※以下は全て、演習室での環境にあわせて説明します。

(参照 URL : <http://www.netwave.or.jp/~kurihara/hometext/home2-11.html>)

●以下のページを作ってみましょう！（各行程ごとに Explorer で確認しましょう。）●



◆まず、「C: (Cドライブ)」の下の「temp (フォルダ)」の中に「WWW」というフォルダを作り(この中に HTML ファイル入れておきます)、その中に「image」というフォルダを作りましょう(この中には gif や jpeg の画像ファイルを入れておきます)。



① ホームページに背景色、壁紙をつける

●背景色を指定する [背景色=白]

- a. メモ帳 (Macであればミミカキエディット)を起動し、以下の本文を入力します。
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」

本文	タグ解説
<pre><HTML> <HEAD> <TITLE>〇〇のホームページ</TITLE> </HEAD> <BODY BGCOLOR=#FFFFFF> </BODY> </HTML></pre>	<pre><HTML> </HTML> HTML のファイルであることを定義する。 <HEAD> </HEAD> 一般的には、この間に<TITLE>タグを入れてページタイトルを記述する。または、サーバ等が利用する情報を指定する。 <TITLE> </TITLE> ページタイトルを指定する。このタイトルはブラウザのバーに表示される。 <BODY> </BODY> ページとして表示される内容を指定する。 <BODY BGCOLOR=#RGB 値> </BODY> ページ背景にバックグラウンドカラーを指定する。値には、2桁の16進数で表わしたRGB値(6桁)を指定する。数値の頭には、必ず「#」マークをつける。</pre>

違う色を指定したい場合は、以下を参照してください。

(カラーチャート URL : <http://www.htmq.com/color/index.shtml>)

※基本的に HTML では、色指定をするときは、Web セーフカラーを使います。

- b. これで一つ目の行程が終わりました。メモ帳に「index.html」という名前を付けて、「www」フォルダに保存しましょう。「Explorer」を起動し、今保存した HTML ファイル (index.html) を「Explorer」のウィンドウ内にドラッグして、ページを確認しましょう。

●壁紙をつける

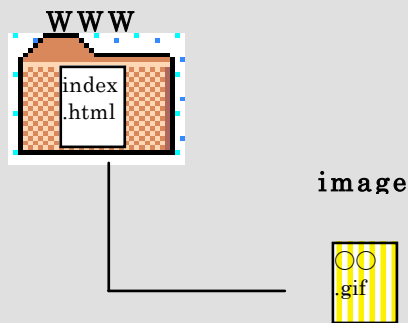
- a. 「Explorer」を起動し、アドレスに <http://www.sozaionokoku.com/> と入力し、このホームページから好きな壁紙をダウンロードしましょう。
ダウンロードしたい画像の上で右クリック→「画像を保存」→保存先を「image」フォルダに指定してください。
- b. メモ帳で<BODY BGCOLOR=#FFFFFF>を<BODY BACKGROUND="image/ダウンロードしたファイル名">に変更してみましょう。

本文

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>〇〇のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY BACKGROUND="image/ ダ
ウンロードしたファイル名">
</BODY>
</HTML>
```

タグ解説

<BODY BACKGROUND=背景イメージ>
</BODY>
 ページ背景として、特定のイメージを指定する。
 今回の場合、HTML ファイル（メモ帳で作っているファイル「index.html」）が置かれるディレクトリ（「WWW」フォルダ）の下層にある、「image」ディレクトリ（フォルダ）内に、先ほどダウンロードしておいた画像ファイル（gif ファイル）を指定するので、左の様になります。



②見出しを書き、区切り線をいれる

- a. 見出しタグ、<HR>タグをメモ帳に入力しましょう。

本文

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>〇〇のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY BACKGROUND="image/ダウンロードし
たファイル名">
<H1>〇〇のホームページへようこそ！！
</H1>
<HR SIZE=15 WIDTH=50%>
</BODY>
</HTML>
```

タグ解説

<H1> </H1>~<H6> </H6>
 このタグで挟まれた部分が見出しになる。文字は太字で、上下に必ずスペースがとられる。
 <H1>が最大、<H6>が最小で、数字が大きくなるにしたがって、文字サイズは小さくなる。

<HR SIZE=太さ WIDTH=幅>
 <HR>タグは終タグがなく、単独で指定する。
 SIZEに値（ピクセル数、上限 100）を指定することで太さが変わり、WIDTHに値（ピクセル数または%）を指定することで幅が変わる。無指定（<HR>のみ）ならば、SIZE=2、WIDTH=100%で表わされる。また、<HR NOSHADE>と指定すると、平面的な線を表示できる。もちろん、幅や太さは WIDTH、SIZE で変更可能。

③画像張り付ける（改行タグ、センタリング）

- a. 「Explorer」を起動し、アドレスに <http://www.sozauiokoku.com/>と入力し、このホームページから好きなタイトル画像をダウンロードしましょう。保存先は「image」フォルダにします。

- b. タグ、改行タグ、<CENTER>タグをメモ帳に入力しましょう。

本文

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>〇〇のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY BACKGROUND="image/ダウンロードしたファイル名">
<CENTER>
<IMG SRC="image/ダウンロードしたファイル名">
<P>
</CENTER>
<H1>〇〇のホームページへようこそ!!</H1>
<HR SIZE=15 WIDTH=50%>
</BODY>
</HTML>
```

タグ解説

 タグに終タグはなく、必ず SRC を付けて単独で指定する。WIDTH=幅サイズ(ピクセル数または%)、HEIGHT=高さサイズ(ピクセル数または%)の指定をすれば、サイズを変更できる。また、タグには自動的に改行がはまらない。

**<P>、
 (改行タグ)**
 <P>、
タグは終タグのないタグとして使われる。<P>タグの直後には1行分の空きスペースが作られるが、
タグはスペースを作らない。

<CENTER> </CENTER>
 このタグで挟まれた部分は、ページ中央にセンタリングして表示される。

④ リンクをはりましょう。(リストタグ、タグ、太字タグ)

- a. メモ帳にリストタグで「自己紹介」「その他」を書き、「自己紹介」を赤色にし、「その他」を太字にしましょう。

本文

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>〇〇のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY BACKGROUND="image/ダウンロードしたファイル名">
<CENTER>
<IMG SRC="image/ダウンロードしたファイル名">
<P>
</CENTER>
<H1>〇〇のホームページへようこそ!!</H1>
<HR SIZE=15 WIDTH=50%>
<UL>
<LI><FONT SIZE=5 COLOR="red">
自己紹介</FONT>
<LI><B>その他</B>
</UL>
</BODY>
</HTML>
```

タグ解説

** **
 行頭に黒丸などの記号をつけ、リストを作成するタグ。でリストとなる部分全体を挟み、各項目の先頭にをつける。また、番号付きリストにしたい場合は、 の形で挟むと、自動的に番号がふられる。

** **
 タグで文字のサイズや色を変更する。SIZE=値(最小=1、最大=7)で文字サイズを変更、無指定ならばSIZE=3、値と文字の大きさは比例する。COLOR=色名または値(#RGB値)で色を変更できる。

** **
 このタグで挟まれた文字を太字にする。

- b. pro.html ファイルを作りましょう。index.html からリンクをはりましょう。メモ帳の「ファイル」から新規を選び、今まで習ったことを参考に、自己紹介のページを作りましょう。作り終わったら、それを「pro.html」と名前を付け

て、「www」フォルダ内に保存しましょう。

(参照：HTML タグリファレンス<資料 I>、

URL; <http://www.netwave.or.jp/~kurihara/hometext/home2-11.html>)

c. index.html「自己紹介」から pro.html にリンクをはりましょう。

本文

タグ解説

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>〇〇のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY BACKGROUND="image/ダウンロードしたファイル名">
<CENTER>
<IMG SRC="image/ダウンロードしたファイル名">
<P>
</CENTER>
<H1>〇〇のホームページへようこそ!! </H1>
<HR SIZE=15 WIDTH=50%>
<UL>
<LI><A HREF="pro.htm">
<FONT SIZE=5 COLOR="red">
自己紹介</FONT></A>
<LI><B>その他</B>
</UL>
</BODY>
</HTML>
```

```
<A HREF="URLまたはファイル名"> </A>
このタグに挟まれた文字やイメージから、ハイパーリンクを作成する。
他のサイト（他人が公開しているページ）にリンクをはるには、リンクしたいホームページの URL を指定すればいい。その場合、リンク先のホームページ制作者にリンクしていかどうかを確認すべきである。また、同一ページにリンクをはるには、表示する文字位置に、<A NAME="マーカー名"></A>と指定しておき、<A HREF="#マーカー名">リンクするテキスト</A>で<A NAME="マーカー名"></A>にリンクを飛ばす。
<A HREF="mailto:メールアドレス"> </A>
で、指定したメールアドレスが入った状態でメーラー(メールソフト)が自動的に起動する。
```

●これで簡単なホームページが完成しました。

・WWW サーバにアップロードする（学内からのみ）

●アップロード

以下の URL を参照してください。

<http://gakunai.shiga-med.ac.jp/mmc/netmanual/homepage/homepage.html>